

4 用語解説

あ行

生きる力

予測困難な社会の変化に主体的にかかわり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力のこと。

か行

学習指導要領

小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の各学校が各教科で教える内容を学校教育法施行規則の規定を根拠に国が定める教育課程の大綱的基準。

学校司書

学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童・生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、学校図書館の職務に専任で従事する職員。

学校生活支援シート

保護者、教育、保健・医療、福祉等が連携し、児童・生徒を支援していくため、それぞれの機関が行ってきた支援の情報を共有するなど、入学時や進級・進学時の引継ぎを確実にするための計画。なお、個別指導計画が学校における短期的な支援を設定しているのに対し、長期的な視点で一貫して的確な支援を行うことを目的として作成するもの。

カリキュラム・マネジメント

児童・生徒や地域の実態を踏まえて各学校が設定する学校教育目標を実現するために、学習指導要領に基づき教育課程（カリキュラム）を編成し、それを実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進していくこと。

キャリア教育

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。（キャリア発達：社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のこと。）

キャリアパスポート

学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う際に、児童・生徒が活動を記録し蓄積する教材等のこと。

教育課程

教育基本法及び学校教育法その他の法令並びに学習指導要領の示すところに従い、学校教育の目的や目標を達成するために、地域や学校の実態及び児童・生徒の心身の発達の段階に応じて指導内容と指導時間数を総合的にまとめた学校の教育計画。

教育支援室「あゆみ教室」

学校に行きたいと思っていながらも、どうしても行けないなど、小平市立小・中学校に在籍する不登校で悩んでいる児童・生徒を、学校復帰に向けて支援する教室。

教育相談

いじめや不登校、発達の課題や問題行動等、様々な悩みを抱える児童・生徒や保護者に対して、個別に行う相談のこと。

協働的な学び

探究的な学習や体験活動などを通じ、子どもたち同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する学び。

公共施設マネジメント

地方公共団体等が保有し、又は借り上げている全公共施設を、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組み。

国際理解教育

広い視野をもち、異文化を理解し、これを尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく態度などを育成する教育。

こげら就学支援シート

家庭や認定こども園・幼稚園・保育園等における子どもの様子や保育の様子、指導内容・方法の工夫や配慮といった、保護者、各園等の様々な思いを学校へ引き継ぐ資料。学校は、この資料を参考に、子どもにあった指導内容を検討していく。

子どもの貧困対策

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る取組。

個別最適な学び

子どもたち一人ひとりの特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」と、子どもたちの興味・関心等に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子ども自身の学習が最適になるよう調整する「学習の個性化」を、学習者の視点から整理した概念。

個別指導計画

障がいのある子どもの一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を実施するため、個々の実態を踏まえ、具体的な目標（長期目標・短期目標）や指導内容、指導方法、評価等を書き込んで作成した短期的な実行計画。

コミュニティ・スクール

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第47条の5）に基づく、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、地域とともにある学校づくりを実現するための仕組み。教育委員会は、学校の運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くように努めなければならないとされている。

小平市では、学校運営協議会を学校経営協議会と称しており、平成19年度から設置を進めている。

コンプライアンス

一般的に法令遵守と和訳されるが、さらに社会規範や倫理規範などを遵守することも含まれる概念。

さ行

自己肯定感

自分のあり方を積極的に評価できる感情、自らの価値や存在意義を肯定できる感情などを意味する語。

持続可能な開発目標（SDGs）

Sustainable Development Goals の略称で、日本語では持続可能な開発目標と訳される。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2030年を期限とする国際的に取り組む世界共通の目標。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されており、本計画では、主に「4 質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指す。

持続可能な社会

将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている社会のこと。

自尊感情

自分自身を基本的に価値ある存在と認める感情。

就学前教育

保育所・幼稚園・認定こども園などにおいて提供される就学以前の教育・保育。

就学相談

特別な支援が必要な子どもたちの就学に関する相談を行うこと。教育や医療、心理等の専門家が、保護者との面接や子どもたちの行動観察を行った上で、障がいの種類や発達の状況に応じ、能力や可能性を最大限に伸ばすことに最も適した学びの場について検討し、一人一人に合った就学先・教育の場の情報を保護者に伝える。

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領に位置付けられている、児童・生徒に必要な資質・能力を育むために、学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化していく視点。

生涯学習社会

一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会。

情報モラル

情報社会で適正に活動するための基となる考えや態度。

情報リテラシー

情報及び情報手段を主体的に選択して活用していくための知識や能力。

食育

生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

人生100年時代

健康志向の高まりや医療体制の充実等により、平均寿命が延び、100歳まで生きることができるようになる時代。

スタートカリキュラム

小学校に入学した児童が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

スクールカウンセラー

いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や早期発見・早期解決を図るため、児童・生徒へのカウンセリングや保護者、教職員に対する助言・援助を行う心の専門家。

スクールソーシャルワーカー

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童・生徒を取り巻く環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて問題の解決に向けて対応を図っていく福祉の専門家。

青少年対策地区委員会

青少年の健やかな成長を願って活動する地域住民による行政協力団体。

全国学力・学習状況調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析する調査。小学校6年生、中学校3年生を対象としている。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

児童・生徒の体力の状況を把握・分析するために実施する調査。小学校5年生、中学校2年生を対象としている。

た行

確かな学力

知識や技能だけでなく、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等までを含めたもの。

タブレット

データ伝送役務によるデータ通信を可能とする機能のみを有する移動端末設備であって、タッチスクリーンを有するもの（スマートフォンを除く）。

地域学校協働活動

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。

小平市では、地域学校協働活動を小平地域教育サポート・ネット事業と称して取り組んでいる。

地域教育コーディネーター

地域学校協働活動を円滑に行うため、学校と地域をつなぐ役割などを担う者。

超スマート社会 (Society 5.0)

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

デジタル教材

デジタル機器や情報端末用の教材。教科書の内容とそれを閲覧、編集できる機能に加え、映像や画像、音声などを提示できる。

特定歴史公文書

保存期間が満了した公文書でも、歴史的に価値のあるもの（歴史公文書）は保存し、閲覧等の利用ができる仕組みをつくることで、現在のみならず将来の市民に対しても説明責務を果たすために導入された考え方で、歴史公文書のうち、保存期間満了後に中央図書館に移管されたもの。

特別支援教育

障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う教育。

な行

認定こども園

幼稚園や保育所等において、都道府県知事の認定を受け、就学前の子どもに教育と保育を一体的に提供する機能と地域における子育て支援を行う機能を備える施設。

ま行

メンタルヘルス

心の健康、精神衛生のこと。

や行

ユニバーサルデザイン

全ての人々が利用しやすく、暮らしやすいように、ものづくりやまちづくり、環境づくりを行うという考え方。

ABC

ALT

Assistant Language Teacher の略称。外国語担当教員の助手として授業の補助や教育教材の準備、課外活動などに従事し、国際文化の向上のため活動をする。

GIGAスクール構想

1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現するとともに、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師、児童生徒の力を最大限に引き出す構想。GIGAは、Global and Innovation Gateway for All の略。

NPO

「Non-Profit Organization」又は「Not-for-Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

ICT

Information and Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。

LGBTQ

レズビアン (Lesbian)・ゲイ (Gay)・バイセクシュアル (Bisexual)・トランスジェンダー (Transgender)・クエスチョニング (Questioning、自分のセクシュアリティを決められない、わからない、決めない人) の頭文字をとった言葉で性的少数者の総称のひとつ。

OJT

オン・ザ・ジョブ・トレーニング (On The Job Training) の略で職場内研修のこと。

PDCAサイクル

①Plan：目標・計画の設定②Do：実行・行動③Check：点検・評価④Action：改善の一連のサイクルにより、次の目標・計画に反映させる管理方法のこと。

SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Social Networking Service) の略で、人と人とのつながりを支援するインターネット上のサービス。